

発行：東京都港区虎ノ門1-10-5
WeWork KDX Toranomon 1 Chome 11階
Mail: icscp_office@nicscp.jp
2021年8月31日(火)No. 100

ICS CP 産応協ニュース [第101号]
スーパーコンピューティング技術産業応用協議会(産応協)
Industry Committee for Super-Computing Promotion

第49回産応協セミナー

第49回産応協セミナーが、Webinar方式で8月31日(火)、9月2日(木)の両日に開催されました。今回のセミナーのテーマは、「マルチスケール・連成解析の技術展望と適用事例」でした。視聴者の負荷を考慮し、2日に分けての開催でしたが、視聴登録社数は、初日が50名、2日目が47名と多数の方の参加を頂きました。プログラムは、以下のとおりでした。

《プログラム》

1日目(8月31日)

1. 「不均質高分子系のマルチスケール流動シミュレーション」
東北大学大学院理学研究科物理学専攻 教授 川勝年洋氏
2. 「微小機械システムにおけるマルチフィジックス連成解析」
九州工業大学大学院情報工学研究員知的システム工学研究系准教授 石原大輔氏
3. 「マルチスケール流体構造連成問題におけるSpace-Timeアイソトメトリック解析法とその応用」
早稲田大学理工学術院創造理工学研究科総合機械工学専攻/
創造理工学部総合機械工学科 教授 滝沢研二氏

2日目(9月1日)

1. 「マルチスケール・トポロジー最適化に関する研究紹介」
名古屋大学大学院工学研究科土木工学専攻 教授 加藤準治氏
2. 「高分子溶融体流動のマルチスケールシミュレーション」
京都大学大学院工学研究科化学工学専攻 准教授 谷口貴志氏

産応協セミナーWGの開催

上記セミナー開催準備のため、8月17日(火)、27日(金)両日にWGを開催いたしました。セミナー当日の役割確認、アンケート内容の確認等について、打合せを行いました。

施策提言WGの開催

8月24日(火)に、施策提言WGがリモートで開催され、事務局を含め14名の委員が出席いたしました。今回は前回に引き続き、2021年度の施策提言の課題について話し合われました。特に研究開発利用が前提のHPCIにあって、最近話題となっているHPCIのクラウド的利用における産業利用の在り方についての議論が行われました。

HPCIのクラウド的利用は、産業界から見るとプロダクションランによる民業圧迫の懸念も考えられ、プロダクションランと研究開発利用の線引きを明確にしておく必要があるのではないかとの意見がでています。

HP CロードマップWGの開催

8月25日（水）にHP CロードマップWGが、リモートで開催されました。今回の出席者は、事務局を含め18名でした。今回は、各会員企業から提出頂いた新たな追加ロードマップ・テーマについて議論を行い、材料・科学分野から3件、建設・機械分野より4件の新規テーマを取り込むことが決定されました。今後は、新規テーマについて内容、表現方法、関連する外部組織（自動車次世代CAEコンソーシアム等）の活動と調整しながら、ロードマップを作成していく予定です。

以 上

【スーパーコンピューティング技術産業応用協議会（産応協）事務局】
住所：東京都港区虎ノ門2-10-1 虎ノ門ツインビルディング西棟4階
電話：03-3435-5425 E-Mail：icscp_office@icscp.jp
担当：中川，滝口

《新規産応協会員募集について》

産応協では、新規会員を随時募集しております。

会員種別には、正会員，準会員，登録会員の三種類を設けております。

関心をお持ちの方は、以下URL若しくはQRコードより詳細をご確認のうえ、申請頂きたくよろしくお願ひ申し上げます。

<http://www.icscp.jp/admission/>

